

戦前期の浴風園の処遇と記録の研究

— 浴風園「保護経過」の分析を通して —

○ 岐阜県 仁禮 智子(06212)

小笠原祐次(社会福祉法人多摩同協会・00921)、岡本多喜子(明治学院大学・00252)

中村律子(法政大学・00795)、鳥羽美香(文京学院大学・02910)、中村英三(常盤大学・04368)

西田恵子(常盤大学・01970)、曲田志保子(松山東雲女子大学・01317)

キーワード3つ：養老院、救護法、処遇記録

1. 研究目的

社会福祉法人浴風会浴風園の開設当初から保管されている資料のうち、戦前期の資料(個人記録)をもとに、その処遇内容や組織運営等に関する一連の研究を行っている。(中村報告、岡本報告、鳥羽報告)

今回は、浴風園の保護記録の中から、寮母・看護婦の入園者保護経過の記録である「入園者身分概要」の「保護経過」をとりあげ、当時の寮母たちがどのように保護(ケア)に取り組んできたか、そのために行ってきた入園者の観察の観点について分析し、入園者への対応の方法について検討することを目的とする。

2. 研究の視点および方法

戦前期の入園者記録は、約2600人分が簿冊として保管されているが、中でも「保護経過」が残されているものを中心に収録を行い、戦前期入園者の約半数にあたる約1300ケースの収録を行った。さらに、個人記録の記載内容などを確認するために、内容の正確な読み込みを行うことを目的に、記録の読み起こしを行った。読み起こしは、「入園者身分概要」の「保護経過」が詳細に記述されているものを中心に、時期による記載様式や記載状態にも考慮しながら、出来る限り年代のバランスを考えて、現在までに106ケースの読み起こしを終了している。保護記録の分析は、この読み起こしの106ケースを中心に進め、中でも「入園者身分概要」の「保護経過」が記述されている49ケースを重視している。

本研究では、記録が長く、生活の詳細にわたって記述しており、特に処遇が難しかったことがうかがわれたいくつかのケースについて、「保護経過」の内容を、気づき、トラブル、介入、外出、医療といったカテゴリーに分類し、時系列に沿って視覚化し、関係の整理を行う。また、寮母の観察観点の具体的内容について、ケースに沿って検討する。

3. 倫理的配慮

倫理的配慮としては、個人情報に関してはプライバシー保護のため匿名化し、個人が特定できないように事例を加工・修正を加えて記述している(固有名詞を○□などと表記)。また、本研究は社会福祉法人浴風会に了解並びに協力を得て実施している。

4. 研究結果

例1 K・T(男性) 昭和3年10月入園 細かい記録は昭和9年10月から始まっている。

昭和14年後半から、医療関係の記述や不穏・トラブルの記述が増えてくる。

入所年月 昭和3年10月(77才) 退所年月 昭和17年1月(死亡)

家族状況 妻死亡。子どもなし。3人の姉は行方不明 心身状況 健康

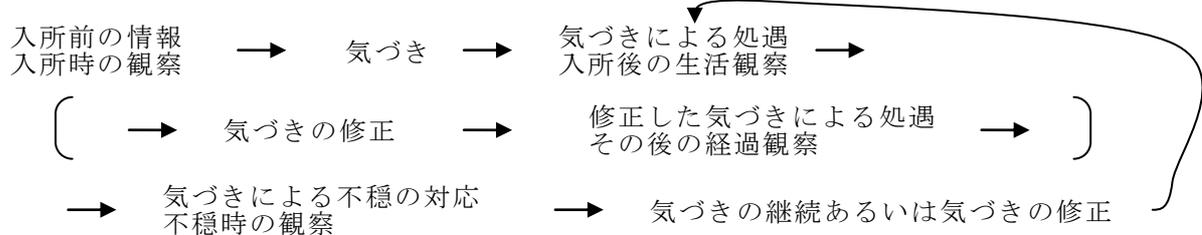
入所理由 機械人夫、日雇人夫、豆行商、飯焚、餅行商など転々とし、老齢と神経痛で生活困難となった。飯焚として雇われた原胤昭の依頼により保護。

保護経過記録の特徴 原胤昭からの差し入れなどの記述あり

(気づき:抜粋)

- ① 何か一つ強い怒り方をすれば暴力で処理せんとする様な単純で強かった口(昭和9年10月)
- ② 本人の心境に美をよるこぶ奇麗さのある事を知る。美を愛づる事によって少しでも情的な修練を得る様に。(昭和9年10月10日)
- ⑥ こんな問題が心の中にあった為か(昭和14年9月20日)
- ⑧ 単純にて短気、只花を持たせる様にしておく事、を主としておる。目をかけてあげる様にしておると平静である。(昭和15年3月5日)
- ⑨ 人に煽動され易く如何なる悪口でも云ふ。(昭和15年3月5日)

各事例に共通する流れで、新入園者寮や、その後配置された寮において、入所後に起こった出来事への反応や、日常の生活観察から得られる情報の積み重ねによって気づきそのまま継続したり、新しい要素があれば修正が加えられたりする。その流れはずっと続いていき、大雑把には、



といった流れがずっと続いていく。

5. 考察

入所者の不穏時などには、それまでの気づきを根拠にした方針をもって対応しているところがあり、それによって、対応していく寮母自身もまた安定して、信念をもって関わっている。

後になると、入所者の体調が崩れ、医療的ケアが集中して出てきたりする。程度にもよるが、医療的ケアの記述が密になり、入所者の動きが減ってくると、生活面や性格の記述は少なくなる。寮母の気づきは、入所者の自発的な動きや外との交流の持ち方、日常生活において発せられる言葉から、入所者の性格、入所者が持っている意向をとらえ、「保護処遇」にあたる試みであったと言えるのではないだろうか。